



# しおかぜ



よこはましりつうしおだしょうがっこう  
横浜市立潮田小学校  
2022年7月22日

## たの たの なつやす 楽しい楽しい夏休み

こうちょう こいずみ ひろし  
校長 小泉 博史

私は小学生のころ、虫や水の中の生き物が大好きでした。しかし、都会に住んでいる私には、なかなか出会うことができないので、毎年夏休みに虫や水の中の生き物がたくさんいる祖父母の家に行くのがとても楽しみでした。だから夏休みになるのが待ち遠しくて待ち遠しくて仕方ありませんでした。自分で宿泊の用意をしたり、時刻表で、電車の出発時刻や到着時刻を何度も見たりして、ちむどんどん（わくわくした気持ち）が止まりませんでした。祖父母の家に着くとすぐに山に行き、カブトムシやカエルクワガタムシ、カナブン、セミなど、そこにいる虫たちを捕まえました。次に田んぼへ行って、ザリガニやゴなどふだん見られないような生き物を見つけては捕まえて楽しみました。祖父母の家にいる間中、そんなことを毎日していたように思います。もちろん、めったに会えない多くのいとこたちと過ごすことも祖父母の家に行く大きな楽しみでした。今思い出しても、心が躍る昔々の記憶です。

その他にも、夏休みといえば、やはり普段の生活ではできないことをした記憶もたくさん残っています。「早起きをして毎日続けた町内会のラジオ体操」「自由研究で作ったランプ」「自転車で10km走破したこと」「苦しかった野球の合宿」「親戚みんなでの旅行」など。小学生だから楽しい一つ一つの思い出が、今の私の心を育ててくれたのではないかと考えています。

本校の子どもたちに、「夏休みの一番の楽しみは何?」と尋ねてみました。すると次のように答えてくれました。

「プールに行くこと!」「家族で旅行に行くこと!」「毎日休みなことがうれしい!」

「遊園地に行くのが楽しみ!」「サッカーの合宿が楽しみ!」「おじいちゃん、おばあちゃんの家で1週間泊るのが楽しみ!」「海に行くこと!」「家でゲームをすること!」「ハリーポッターシリーズを全部読みたい!」

「花火をしたり、花火大会に行ったりする!」「読書するのが楽しみです!」「家族で釣りに行きます!」

話している表情を見ていると、こちらも嬉しくなってきました。中には・・・「学校に行けなくてつまらない。」と答える子どももいました。

コロナ禍の夏休み。また、熱中症にも気を付けなければならない夏休み。子どもたち一人ひとりにどれだけの思い出が作られるのか心配ですが、子どもたちには、小学生の夏休みにしかできない経験、小学生の夏休みだからこそできる経験をしてほしいと思います。そして、その経験を通して、一回りも二回りも心を豊かにして、8月29日に学校に戻ってきてほしいです。

保護者の皆様、地域の皆様、4月からの本校の教育活動につきまして、ご理解とご協力をいただきましてありがとうございます。子どもたちが大きな事件、事故もなく夏休みを迎えられるのも皆様のおかげです。本当に感謝申し上げます。